



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月7日

上場会社名 小池酸素工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 6137 URL https://www.koike-japan.com
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池 英夫
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長執行役員 (氏名) 富岡 恭三 TEL 03-3624-3111
管理部長
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	11,712	4.6	923	35.6	1,251	35.9	768	30.1
2024年3月期第1四半期	11,199	5.5	681	20.0	920	6.6	591	6.1

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 1,557百万円 (16.3%) 2024年3月期第1四半期 1,339百万円 (49.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	182.78	—
2024年3月期第1四半期	141.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	74,548	43,274	53.6
2024年3月期	73,476	42,384	53.5

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 39,967百万円 2024年3月期 39,346百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	200.00	200.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	200.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	25,000	4.5	2,000	11.4	2,200	0.5	1,200	△11.6	285.77
通期	52,000	1.2	4,400	2.0	4,800	△6.8	2,700	△11.7	642.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	4,522,933株	2024年3月期	4,522,933株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	312,848株	2024年3月期	317,875株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	4,206,530株	2024年3月期1Q	4,190,695株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
3. 補足情報	10
受注の実績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済は底堅い雇用環境および個人消費に支えられ、堅調に推移しました。また、欧州においても景気に持ち直しの動きがみられました。しかしながら、中国経済の停滞や不安定な国際情勢、各国の金融引き締め政策の継続等により、先行き不透明な状況となりました。

一方、わが国経済は、雇用・所得環境の改善により、景気は緩やかに回復しているものの、円安による物価上昇やそれに伴う個人消費の鈍化、海外景気の下振れリスクが懸念され、依然として予断を許さない状況で推移しました。

当社グループの主需要先である産業機械業界では市況は低調に推移し、建設業界では鉄骨、橋梁需要が減少しましたが、造船業界では手持ち工事量に増加がみられるなど堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画で掲げた「世界市場での顧客満足の実現と収益基盤の強化」に向けた拡販活動の推進や収益力の強化に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は117億12百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益は9億23百万円（同35.6%増）、経常利益は12億51百万円（同35.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億68百万円（同30.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

機械装置

機械装置部門においては、新規顧客への営業活動を強化したことにより受注が増加し、当社オンリーワン技術のDBC (Dual Beam Control) ファイバーレーザー切断機が引き続き好調に推移しました。海外市場においては、韓国・中国にて造船業界の設備投資に回復傾向がみられたことにより、売上高は増加しました。

その結果、売上高は47億42百万円（前年同期比13.7%増）、セグメント利益は6億1百万円（同16.4%増）となりました。

高压ガス

産業ガス分野においては、市場環境に停滞がみられるなか、2024年問題による物流コストの高騰等に伴う価格改定、深耕拡大および新規拡販活動に注力しました。医療分野においては、CPAPレンタルや院内感染防止対策機器の営業活動を強化したことにより、売上高は増加しました。

その結果、売上高は48億45百万円（前年同期比1.6%増）、セグメント利益は3億92百万円（同3.7%増）となりました。

溶接機材

溶接機材部門においては、労働環境改善や省力化、効率化の提案を行うことで付加価値の高い営業活動を進め、ロボット溶接システム、バリ取り装置、バランスー等設備案件を受注したことに加え、各地の展示会に積極的に参加し溶接機の拡販に努めました。

その結果、売上高は20億20百万円（前年同期比2.5%減）、セグメント利益は2億10百万円（同9.1%増）となりました。

その他

その他の部門においては、海外向けの排ガス処理装置およびヘリウム回収精製装置等の受注が低迷したことにより、売上高は減少しました。

その結果、売上高は1億3百万円（前年同期比44.6%減）、セグメント利益は32百万円（同26.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は745億48百万円で、前連結会計年度末比10億71百万円の増加となりました。

流動資産合計は416億56百万円で、前連結会計年度末比4億9百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金が32億14百万円増加、商品及び製品が4億59百万円増加、仕掛品が4億30百万円増加の一方、有価証券が30億円減少、受取手形及び売掛金が11億2百万円減少したことによるものです。

固定資産合計は328億91百万円で、前連結会計年度末比6億62百万円の増加となりました。これは主に投資有価証券が4億66百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は312億73百万円で、前連結会計年度末比1億81百万円の増加となりました。

流動負債合計は243億47百万円で、前連結会計年度末比1億6百万円の増加となりました。これは主にその他に含まれる未払金が6億86百万円増加、短期借入金が3億51百万円増加の一方、未払法人税等が4億95百万円減少、支払手形及び買掛金が4億24百万円減少したことによるものです。

固定負債合計は69億25百万円で、前連結会計年度末比74百万円の増加となりました。これは主に繰延税金負債が1億27百万円増加、リース債務が32百万円増加の一方、長期借入金が92百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は432億74百万円で、前連結会計年度末比8億90百万円の増加となりました。これは主に為替換算調整勘定が4億14百万円増加、非支配株主持分が2億69百万円増加、その他有価証券評価差額金が2億53百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は53.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月10日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,581	16,795
受取手形及び売掛金	9,743	8,640
電子記録債権	5,197	5,334
有価証券	3,000	—
商品及び製品	4,186	4,645
仕掛品	2,392	2,822
原材料及び貯蔵品	2,115	2,312
その他	1,237	1,307
貸倒引当金	△205	△202
流動資産合計	41,247	41,656
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,563	3,569
機械装置及び運搬具(純額)	1,045	1,059
工具、器具及び備品(純額)	1,002	1,015
土地	6,314	6,322
リース資産(純額)	836	903
建設仮勘定	183	261
有形固定資産合計	12,946	13,131
無形固定資産		
のれん	8	6
その他	672	685
無形固定資産合計	681	691
投資その他の資産		
投資有価証券	10,573	11,040
投資不動産	4,900	4,874
繰延税金資産	53	53
退職給付に係る資産	1,711	1,729
その他	1,398	1,413
貸倒引当金	△36	△44
投資その他の資産合計	18,600	19,067
固定資産合計	32,228	32,891
資産合計	73,476	74,548

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,439	6,015
電子記録債務	5,345	5,239
短期借入金	4,840	5,192
1年内返済予定の長期借入金	413	400
リース債務	549	572
未払法人税等	905	410
賞与引当金	809	749
役員賞与引当金	194	119
受注損失引当金	25	23
製品保証引当金	113	115
建物解体費用引当金	35	35
その他	4,568	5,474
流動負債合計	24,241	24,347
固定負債		
長期借入金	816	724
リース債務	628	660
繰延税金負債	4,303	4,431
再評価に係る繰延税金負債	454	454
役員退職慰労引当金	57	57
退職給付に係る負債	224	230
資産除去債務	16	16
その他	349	350
固定負債合計	6,850	6,925
負債合計	31,092	31,273
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,028	4,028
資本剰余金	2,016	2,014
利益剰余金	25,165	25,145
自己株式	△722	△710
株主資本合計	30,487	30,477
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,318	5,571
繰延ヘッジ損益	△2	△12
土地再評価差額金	907	907
為替換算調整勘定	1,800	2,214
退職給付に係る調整累計額	834	808
その他の包括利益累計額合計	8,858	9,490
非支配株主持分	3,037	3,306
純資産合計	42,384	43,274
負債純資産合計	73,476	74,548

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	11,199	11,712
売上原価	7,836	7,899
売上総利益	3,363	3,812
販売費及び一般管理費	2,682	2,888
営業利益	681	923
営業外収益		
受取利息	15	37
受取配当金	59	68
受取賃貸料	86	88
物品売却益	17	26
為替差益	78	68
貸倒引当金戻入額	36	—
雇用調整助成金	—	43
その他	16	84
営業外収益合計	310	418
営業外費用		
支払利息	23	32
賃貸費用	37	37
持分法による投資損失	6	14
その他	2	7
営業外費用合計	70	91
経常利益	920	1,251
特別利益		
固定資産売却益	0	2
投資有価証券売却益	168	—
特別利益合計	169	2
特別損失		
固定資産除売却損	2	0
特別損失合計	2	0
税金等調整前四半期純利益	1,087	1,253
法人税、住民税及び事業税	347	362
法人税等調整額	21	7
法人税等合計	369	369
四半期純利益	718	883
非支配株主に帰属する四半期純利益	127	114
親会社株主に帰属する四半期純利益	591	768

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	718	883
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	672	263
繰延ヘッジ損益	—	△9
為替換算調整勘定	△38	446
退職給付に係る調整額	△13	△26
その他の包括利益合計	621	673
四半期包括利益	1,339	1,557
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,212	1,400
非支配株主に係る四半期包括利益	127	156

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	334百万円	356百万円
のれんの償却額	2	2

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	4,170	4,769	2,072	11,012	187	11,199	—	11,199
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,170	4,769	2,072	11,012	187	11,199	—	11,199
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,170	4,769	2,072	11,012	187	11,199	—	11,199
セグメント利益	516	378	192	1,087	43	1,131	△449	681

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△449百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△345百万円、棚卸資産の調整額△149百万円及びその他の調整額44百万円が含まれております。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	4,742	4,845	2,020	11,608	103	11,712	—	11,712
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,742	4,845	2,020	11,608	103	11,712	—	11,712
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,742	4,845	2,020	11,608	103	11,712	—	11,712
セグメント利益	601	392	210	1,203	32	1,235	△312	923

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△312百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△360百万円、棚卸資産の調整額△20百万円及びその他の調整額68百万円が含まれております。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

受注の実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
機械装置	5,536	126.2	10,392	109.1

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 受注高及び受注残高につきましては、標準機・部品等の金額を含めておりません。